

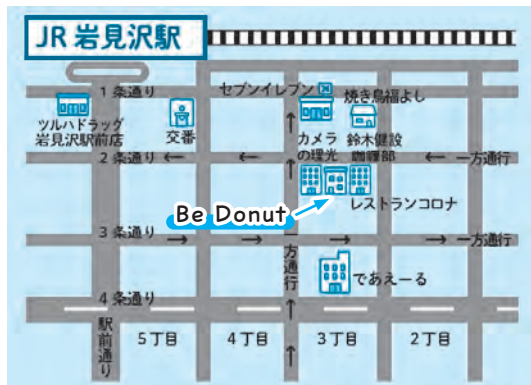


店主 大泉 正法
所在地 2西3
電話番号 35-5605
創業 令和7年11月
定休日 水曜日



Instagram

ビー ドーナツ
Be Donut



店主
大泉 正法さん
に話を聞きました

きっかけは帯広のドーナツ屋さん

前職で十勝地方に勤務していた時に、帯広のドーナツ屋さんのドーナツがとてもおいしく、自分でも作ってみたいと思いました。また、農関係の仕事に携わった経験から、北海道産の小麦粉などを使用した地産地消のおいしいドーナツを作りたいと考えるようになり、創業を志しました。

おいしさのミソは生地にあり！

岩見沢産のキタノカオリなどをブレンドした小麦粉を使い、パンのようになんわり、もっちりとした生地のだーナツです。ドーナツ専門店なので、いろいろな種類を楽しんでいただけます。ドーナツの種類と日替わりドーナツを8から12種類用意しています。生地のおいしさにこだわっているのは是非一度味わってみてください。

個人経営ならではの魅力と強み

自分が面白い・食べたいと思った



おいしいは一番の褒め言葉

お客さまから「おいしい」と言葉をいただく瞬間は、とても嬉しく、大きなやりがいにつながります。また、何度も足を運んでくださるお客さまもいて、そのような出会いは本当にありがたく、日々の励みになります。



創業に興味があるなら、まずは創業塾を受講することをお勧めします。創業のイメージや具体的な内容が固まっていなくても受講できます。さまざまな方の考えに触れたり、創業に関する基礎的な知識を学んだり、専門家からアドバイスを受けたりとすることで、今後の方向性を整理する良い機会になります。創業後は自分の頑張り次第です。場所や仕入先選びは時間がかかるので、経験上、出来る限り早めに行動することが大切だと思います。

これから創業を考えている方へ

今後は、これまで以上にお客さまとのふれあいを増やし、飲み物やイトインスペース・イトイン専用メニューを準備して、カフェを併設した事業展開も視野に入れています。また、季節ごとのイベントなどでの販売も行っていきたいと考えています。

テイクアウト専門店からカフェへ

地域を動かす挑戦者たち

～中小企業と創業者が描く、地域経済の未来～

市は、地域経済の活性化と新たな雇用の創出を目指し、中小企業への経営支援や創業支援に取り組む、事業者が安心して事業を継続・発展できる環境づくりを進めています。

今月は、地域で活躍する企業や新たに事業を立ち上げた創業者の取り組みと、市や関係機関が行う支援施策を紹介します。

問合先 商工振興課商工労政係 ☎ 35-4519

株式会社 北海道 LIXIL 製作所 (栗沢工場)



代表者 宮地 義郎
所在地 栗沢町由良 15
電話番号 45-2611
設立 昭和 59 年 4 月
従業員数 227 人 (うち障がい者雇用 11 人)
事業内容 樹脂サッシ、商業施設・ビル向けアルミサッシ、住宅用断熱パネルの製造

令和 8 年 6 月 5 日
もにす認定取得！

用語解説 もにす認定 (共に進む「ともにつつまむ」)
障がい者雇用の促進や雇用の安定に関する取り組みが優良な中小企業を、厚生労働大臣が認定



地域に根ざしたもののづくり

岩見沢の地で、皆さんの住まいを支える樹脂サッシなどの製造を行っています。また、小・中学校で「家の中の安全を考えよう」をテーマに、ものづくりの心を伝える出張授業を実施しているほか、工場見学会や地域のイベントにも積極的に参加しています。こうした取り組みを通して「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいと暮らしの実現」を目指しています。

働きやすい職場づくり

入社時は、新しい仕事に無理なく馴染めるよう段階を踏んで丁寧に教育するほか、日々の業務の中でも「分からないことはいつでも周りに聞ける」風通しの良い職場環境を整えています。現在、新卒・中途採用ともに積極的に進んでおり、障がいなど多様なバックグラウンドを持つ方も安心して長く活躍できるよう育成に力を入れています。誰もが安心して働ける、そんな居場所がここにある」と実感できる職場づくりを目指



栗沢工場長
橋爪 隆さん
に話を聞きました

個性が会社の「チカラ」になる

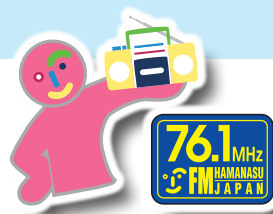
一人一人の個性や特性は、企業や仕事で大きな「強み」になる場合が多くあります。その強みを見つけて出し、最大限に活かせる環境をつくること、周囲で支える仲間の役割だと考えています。個性を大切に「チカラ」として輝かせ、全員が等しく主役になれる会社であり続けたいと思っています。



さらなる飛躍に向けて

これまでの障がい者雇用におけるさまざまな取り組みが評価され、厚生労働省より「もにす認定」を取得しました。しかし、私たちは現在の雇用率や実績に満足しているわけではなく、今後も地域に根ざす企業として、多様な方々が安心して働ける居場所であり続けられるよう、さらなる環境整備を進めていきます。また、障がいのある方で構成する部署の設置など、一人一人の強みをより組織的に生かせる、一歩進んだ事業展開に向けて取り組んでいます。

市や関係機関による 支援施策の紹介



市職員が出演して説明
します
8月7日(金)
午後5時40分

▶ 中小企業向けの支援

安心して中小企業に勤めてもらうための福利厚生事業 市内事業所の事業主と従業員を対象に祝い金、お悔やみや傷病に対する共済金の給付、健康経営促進・能力開発に関する福利厚生事業を実施 問合先 岩見沢市勤労者共済会事務局(商工振興課内) ☎ 35-4519	融資制度 中小企業の資金調達を支援するため、目的に応じたさまざまな融資制度を提供 プレミアム建設券 プレミアム建設券を発行し、中小企業の受注機会の確保と市民の定住を促進 問合先 商工振興課商工労政係
人材育成に取り組む中小企業を支援 ●岩見沢地方高等職業訓練校 技能者の養成と技術の向上 ●技能者訓練助成 職業訓練校に従業員を入校させ国の助成金を受けた事業主に対し、助成金を支給 問合先 岩見沢市職業訓練センター(東町2-1) ☎ 23-8340	補助金や給付金の申請を支援 販路開拓や生産性向上に要する経費の一部を国が補助する〴〵小規模事業者持続化補助金、など、さまざまな補助金や給付金の申請を支援 問合先 岩見沢地区は岩見沢商工会議所(1西1) ☎ 22-3445 北村・栗沢地区はいわみざわ商工会(栗沢町本町11) ☎ 45-2002
経営に困ったときの無料相談 中小企業経営者が抱えるさまざまな経営課題の解決に向けた相談(オンライン相談可) 問合先 北海道よろず支援拠点(札幌市中央区北1西2) ☎ 011-232-2407	通年雇用の促進 セミナーの開催や資格取得費用の助成などにより季節労働者の通年雇用化を支援 問合先 岩見沢市通年雇用促進協議会(商工振興課内) ☎ 24-3625
奨学金返還の支援で人材確保や定着を応援 ●さっぽろ圏奨学金返還支援事業 学生時代に貸与型奨学金を利用した方が認定企業に就職し、特定の地域に居住した場合に支援。 詳しくは、札幌市ホームページをご覧ください ●企業の奨学金返還支援(代理返還)制度 企業が貸与奨学金の返還残額の一部または全額を支援した際、給与として損金算入できるほか、一定の要件で法人税の税額を控除 問合先 札幌市雇用労働課(札幌市中央区北1西2) ☎ 011-211-2278 問合先 (独)日本学生支援機構奨学事業総務課 ☎ 03-6743-6029	



岩見沢には、今回紹介した企業や創業者以外にも、個性や高い技術力、地域への想いにあふれた魅力ある企業や、夢に向かって挑戦し、創業を果たした魅力的な創業者がたくさんいます。それぞれが地域産業や雇用を支え、新たな価値を生み出しながら、市民の暮らしをより豊かにしてくれています。市は、これからも企業や創業者の挑戦を応援し、地域経済の発展と魅力あるまちづくりに向けて支援を続けていきます。

▶ 創業者向けの支援

創業前の支援

- ワンストップ相談窓口
- 創業塾
- 広報いわみざわ、市ホームページで創業者の体験談を紹介

創業後の支援

- 中小企業融資制度
- プレミアム建設券の発行
- 補助金などの申請支援
- 経営無料相談
- 事業承継サポート
- 奨学金返還支援

創業の機運醸成

- インターンシップ
- キャリア教育
- 広報いわみざわ、市ホームページで企業紹介

創業企業などへの就職促進

- 合同企業説明会
- 共済金給付、福利厚生事業
- 技能者養成、技術向上
- 通年雇用の促進
- UIターン就職の支援